



図書館だより

長い夏休みが終わり、二学期が始まりました。夏休みはいかがでしたか？勉強や部活など忙しい日々を過ごしたという人も多いのではないのでしょうか。さて、その中で読書三昧だったという人はどのくらいいるのでしょうか？楽しい本は勿論ですが、自分を高める本や考えさせられる本など、時間がある時こそ手に取って欲しいですね。9月になると、受験の為小論文を書くために悩んでいる生徒を見かけます。書くための文章力、今まで貯めてきた知識が必要となる時のためにも、ぜひ1冊でも多く本を読んでください！

お薦めの新刊本



なぜ宇宙は存在するのか はじめての現代宇宙論 野村泰紀

「宇宙論」は、ここ 100 年で非常に目覚ましい発展をとげています。直近 100 年の宇宙論の歩みを、最先端の発展までを含め、宇宙論や素粒子論量子重力理論などを専門とする著者が徹底解説。少し難しそうな分野ですがはじめての「宇宙論」としてわかりやすい内容となっています。私たちのこの宇宙が始まる前から寿命についてや、この宇宙の外側に至るまで、壮大なスケールで語られている本書。少しでも宇宙に興味がある人には、是非手に取って欲しい一冊です。



夢をかなえるゾウ0 ガネーシャと夢を食べるバク 水野敬也

累計で 400 万部以上読まれている大ベストセラー！
ヒन्दウ教の富と学問の神様であるガネーシャからの課題をこなす中で、主人公がどう成長していくかを、ユーモアたっぷりで描いています。本書は「夢をかなえるゾウ」の集大成のようなストーリーであり、新キャラであるバクとガネーシャの父親のシヴァ神も登場します。今までのシリーズ本では毎回違うタイプの主人公が登場するのですが、それを自分と当てはめて読んでみると面白いですね！笑いあり涙ありの自己啓発本、自身を変えたいと思っている人は読んでみてください。



両手にトカレフ ブレデイみかこ

「ぼくはイエローホワイトで、ちょっとブルー」で知られる著者が描いた 14 歳の少女の世界。母親のネグレクトと貧困で、幼い弟の面倒を見ながら学校に通うミア。絶望と諦めの気持ちの中、日本の明治大正時代に生きた金子文子の自伝と出会う。やがて、文子の気持ちを理解する少女の生活が変化していくさまを、さらっとした文章で描いています。日本でも問題となっている貧困格差やヤングケアラーにスポットを当てた作品、メディアでも取り上げられ話題となっていますので是非手にとってみてください。

